

博物館だより



No.85

平成25年5月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666

春の企画展 ふるさとの名宝

特別公開「当麻曼荼羅」

期間限定・初の同時公開 5月14日(火)～26日(日)

いわゆる「名宝」は、その保存・継承のために、必ずしも「いつでもどこでも誰でも」が気軽に観覧できる状態になっていないものも多く見られます。これは観覧するための出し入れや観覧そのものが、素材を傷める原因となるため、名宝を守るための「宿命」でもあります。しかし、それでも数少ない機会を設けて、点検とともに名宝の持つ「輝き」を多くの人に確認してもらおうことも名宝のもう一つの宿命です。

そんな貴重な宿命を遂げる機会がこの度、みやこ町の名宝に訪れました。

みやこ町豊津にある峯高寺と、みやこ町勝山大久保にある曼陀羅寺がそれぞれ所蔵する「当麻曼荼羅」の特別公開です。

浄土芸術の至宝とされるこの曼荼羅が、両寺のご理解・ご協力のもと、期間限定の特別展示として実現いたしました。この機会にぜひご覧ください。

■期間：5月14日(火)～26日(日)

■場所：当館 展示室

■内容

- ・峯高寺所蔵図(江戸時代)
- ・曼陀羅寺所蔵図(鎌倉時代)

■観覧料：大人 200円
高校生以下 100円

博物館友の会 会員募集!

みやこ町歴史民俗博物館友の会は「故郷を楽しく学ぶ」を motto に、講演会やバスハイイク・歴史たんけんウォークなどさまざまなイベントや学習会を行っています。

関心のある方なら、ごなたでもお気軽に参加いただけます。ぜひ、ご入会下さい。



▲友の会 三重塔すす払い (平成24年12月1日)



▲豊前国府まつり 友の会出店協力 (平成24年6月10日)

♪入会の方法
博物館の窓口で会費を納めてください。

♪年会費

- 個人会員 3000円
- 家族会員 1名2000円

♪お問い合わせ先
みやこ町歴史民俗博物館内 友の会事務局
TEL 0930-33-4666

博物館友の会

定期総会(5月19日)のご案内

平成25年度の博物館友の会定期総会を次のとおり開催いたします。会員の皆さんは万障お繰り合わせのうえご出席ください。

■日時：5月19日(日)
午前10時00分～

■場所：当館 研修室

■議事：事業計画の審議等

■記念講演会
「江戸時代の名医たち」
当館学芸員 川本英紀

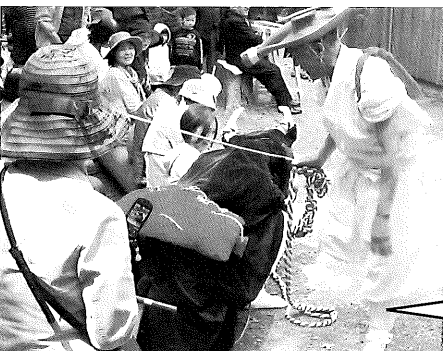
5月期歴史講座のご案内

- 【漢詩紀行講座】
5月4日(土) 9時30分～
- 【古文書講座】
5月11日(土) 10時00分～
- 【古典かな講座】
5月18日(土) 9時30分～
- 【金曜古文書講座】
5月24日(金) 10時00分～
- 【みやこ学講座】
5月25日(土) 10時00分～

3・4月の業務日誌から

3月3日(日)、いのちのたび博物館(北九州市)守友隆氏による「小倉戦争を題材とする軍記・注進・うわさ」と題した文化講演会が行われました。

4月14日(日)、友の会と共催で民俗芸能鑑賞会を行い、「松尾山(上毛町)の御田植祭」を見学。素朴で優雅な祭りに皆さん感動・感謝の一日でした。



▲祭名物の観客にたわむれる「代掻き牛」



▲講師の話に聞き入る皆さん

みやこの歴史発見伝 64

福岡県指定文化財

曼陀羅寺(勝山大久保)所蔵

当麻曼茶羅図

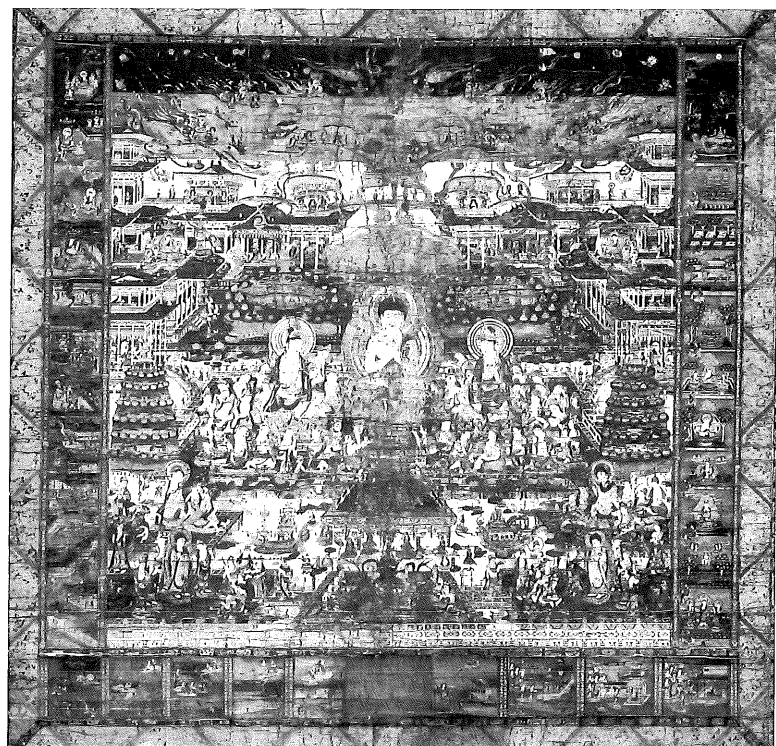
【所在地】みやこ町勝山大久保3100番地の1

【所有者】宗教法人 曼陀羅寺

【製作年代】鎌倉時代

【形状・規模】絹本・軸装、二二一・〇×一二三・七cm(本紙)

【保管場所】福岡県立九州歴史資料館(福岡県小郡市)



▲曼陀羅寺「当麻曼茶羅図」

当麻曼茶羅とは

当麻曼茶羅とは、奈良県葛城市に所在する当麻寺の本尊で、八世紀に製作された仏画です。浄土教の根本聖典とされる「観無量寿経」にもとづき、阿弥陀如来のおさめる極楽浄土の姿を描いたものです。当麻寺所蔵の原本(国宝、約四×四m、軸装)が、鎌倉時代以降盛んに模写され、全国に広がりましたが、それら模写図も当麻曼茶羅と呼ばれました。

当麻寺所蔵の原本は、天平宝字七年(七六三)に、中将姫という貴族の娘が、極楽浄土を思い、蓮の糸を使って一晩で織りあげた、という伝説があることでもよく知られています。

この中将姫伝説は、あくまで伝説ですが、現在、奈良国立博物館(奈良市)では、中将姫伝説にちなみ、「当麻曼茶羅完成一二五〇年記念特別展」として「当麻寺」極楽浄土へのあこがれ」が開催されています(六月二日まで)。

曼陀羅寺の当麻曼茶羅

みやこ町勝山大久保の曼陀羅寺は、浄土宗西山派の寺院で、寺伝によれば、創建は戦国時代末期の元亀二年(一五七二)といわれます。

この曼陀羅寺には、鎌倉時代に製作された当麻曼茶羅が伝えら



▲曼陀羅寺(みやこ町勝山大久保)

れています。製作年代が鎌倉時代にまでさかのぼる仏画は、福岡県内ばかりでなく、九州全体を見渡しても、ごく稀なものです。

曼陀羅寺に残る古記録によれば、この当麻曼茶羅は、寺が創建された際に、浄土宗西山派の絵本山・光明寺(京都府長岡京市)で開眼法要(魂入れ)がなされ、拝領したものと伝えます。寺伝では、鎌倉時代前期に活躍した絵仏師・尊智の作と伝えられています。

技法と顔料

尊智の作か否かは措くとしても、曼陀羅寺の当麻曼茶羅は、その古さばかりではなく、洗練された描線と豊麗な彩色、描かれた仏たちの端正な顔つきや均整のとれた美しい体つきから、美術的にも高い評価をうけています。また、ごく細く切った金箔を貼りあわせて衣の文様を表現する「截

金」という技法を用いていることも特徴の一つです。

平成十七年八月、東京文化財研究所の朽津信明氏によって、この当麻曼茶羅の顔料分析が行われ、青色の顔料として、鎌倉時代以降に特徴的な「群青」が検出されるなど、科学的な見地から製作年代などの解明が試みられました。

特別公開!

平成十八年三月三日、曼陀羅寺の当麻曼茶羅は福岡県指定文化財となりました。現在は福岡県立九州歴史資料館で保管されていますが、来る五月十四日から二十日間で、小笠原氏ゆかりの寺院・峯高寺(みやこ町豊津)の当麻曼茶羅と共に、当館において特別に公開されます。めったに見ることの出来ない、わが町の誇る文化財です。ぜひ、ご覧ください。(川本英紀)

特別公開「当麻曼茶羅」

期間:5月14日(火)~5月26日(日)
場所:みやこ町歴史民俗博物館展示室
内容:小笠原氏ゆかりの寺・峯高寺(みやこ町豊津)の当麻曼茶羅と、福岡県指定文化財・曼陀羅寺(みやこ町勝山大久保)の当麻曼茶羅を期間限定で公開。
観覧料:大人200円、高校生以下100円